

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣南高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年9月2日(火) 13:00～15:00
- 3 開催場所 大垣南高等学校会議室
開催にあたり、委員による南高祭(文化祭)参観を実施した
- 4 参加者

会長	藤吉 和彦	サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
副会長	石坂信一郎	岐阜協立大学副学長
委員	五十川智宣	大垣ケーブルテレビ代表取締役社長、同窓会副会長
	小山亜希子	(社福) 楽山・杜の会理事
	高橋 輝雄	浅中南自治会長
	竹中 拓也	太平洋工業株式会社人事部主査
	服部 裕二	大垣南高等学校育友会長
	藤田万喜子	岐阜聖徳学園大学教育学部名誉教授
	三輪 賢司	岐阜県公民館連合会会長
オブザーバー	伊藤 秀光	岐阜県議会議員(欠席)
学校側	種田 昭彦	校長
	辻 昌宏	教頭
	中藪 淳	事務長
	今枝 誠	教務課長

5 会議の概要

(1) 逝去された学校運営協議会委員に対して黙祷

(2) 報告

ア. アンケートの集計結果(生徒・保護者)

イ. 部活動等の結果

(3) 意見交換並びにご助言

【南高祭(文化祭)に対して】

意見1: 午後の体育館がとても暑かった。熱中症対策としてエアコンの設置が不可欠である。

また、感染症対策として定期的な換気は必ず行うべきである。

意見2: 展示について楽しんでもらう工夫が多くなされていた。それだけに、展示会場へ来て

もらう宣伝を工夫する必要がある。

意見3：全体として和気あいあいとした雰囲気良かった。また、ステージ発表の盛り上がりは予想以上であった。

意見4：時代の流れとともに、文化祭の内容が大きく変わってきていることを実感した。保護者の方などが多く来校しており、開かれた学校という印象を受けた。

意見5：特別支援学校との交流や防災の展示が良かった。自然災害が激甚化してきており、防災に対する学校の意識の高さを感じた。

意見6：発表内容がとても工夫されており、夏休み明けの短期間でここまでやれるのはかなりのエネルギーが必要だったのではないかと。チームワークなどの力が養われている。

意見7：生徒の対応が嬉しかった。すれ違う生徒の笑顔や挨拶が自然体でとても気持ちが良かった。

意見8：今年度から育友会のクラス委員がなくなったが、保護者有志の方の協力によりバザーを運営できたことが良かった。今日の経験がご家庭での親子の会話につながれば嬉しい。

【学校の取り組みに対して】

意見1：アンケートの集計結果について、年度の担当者によって評価が変わるのは組織の体制づくりが弱いのではないかと。

意見2：地域の中学生の数が減っている中で、来年度の高校入試においてフェンシング部の特別枠（独自検査）を増やしたことは評価できる。

意見3：学校は災害時に避難場所として利用される。大垣市は小学校への避難を優先としているので、高校は生徒を守る活動を優先してほしい。

意見4：学校の先生方は大変忙しくやりすぎなところもある。

意見5：大学では卒業後3年経ったところで、企業に卒業生の様子に対するアンケートを行っている。キャリア教育の評価として参考になるのではないかと。

意見6：子どもの数の減少、私立高校の授業料無償化などに対応するために、将来の本校の存在意義を考える必要がある。大垣南高校の生徒は大学卒業後に地元で活躍している者が多く、地域を支えている。

6 会議のまとめ

- ・大垣南高校が持続可能に存在するためには待ちの体制ではいけない。インターネットではアクセスしないと情報が見つからないため、メールなどを活用し学校の様子を情報発信している。今後も学校の様子を伝えていくことに力を入れる。